

平成 22 年度 第 3 回意見交換会報告

日時・場所：平成 23 年 2 月 26 日（土）14:00-17:00 ハピネス・ケア四谷

出席者（敬称略、順不同）：則行清美（中外テクノス）岩橋尊嗣（新エポリオン）小坂芳雄（環境管理センタ）
小松繁 岡本光宏（日本施設）戸部護（芝浦工大）山之井優子（環境管理センタ）西栄子（味の素ファイン）
五十嵐英則 伊藤英武 吉栄康城（新コスモス電機）中津山憲（サンテックス）岩上伸介（日本たばこ産業）
小瀧美里（日本たばこ産業）浅井琢也（日本たばこ産業）高山洋一（近江兄弟社）長谷川良衛（水澤化学工業）
野口茂（オスモ）渡辺真吾（メイコー商事）島田和茂（加藤技術士事務所）久保田はる子（九宝物産）平林憲次
岩橋尊嗣（新エポリオン）矢野英之（味の素ファイン）迎田孝弘（大阪ガスケミカル）滑川雅春（永光）
阿部享一（釧路技研）村上栄造（朝日工業社）松本雄成（東洋興商）高橋通正（神奈川環境科学センタ）
中後晶久（荏原実業）樋口篤志（アイダッシュ）岩尾建士（カナエ）参加者 33 名（会員 21 名 非会員 12 名）

1. 講演報告

演題「低級アルデヒド類の吸着能力を大幅に向上させた吸着剤の開発・商品化」 講師 相部紀夫殿（㈱永光）

“要旨”（当日配布資料より）

たばこの煙、車の排気ガス、調理の排気、建材、家具、衣類などにはホルムアルデヒドやアセトアルデヒドなどが含まれる。このような低級アルデヒド類は、発ガン性、シックハウス症候群、悪臭公害などの原因物質で人体に有害であり、これらを効率よく除去する方法・対策の確立が強く望まれている。

現在、アニリン系活性炭、モルホリン系活性炭などの吸着剤が市販されて使用されているが、アミン臭などの異臭を発生しやすく、また人体への安全性や環境への負荷という面で懸念されている。

演者らは、化粧品や肥料の成分でよく知られており、安全である尿素に着目して、「人体への安全性や環境にやさしい高性能の低級アルデヒド類吸着剤」を開発するため、研究を重ねた。その結果、オゾン酸化処理した活性炭に尿素を添着すると、未処理（通常）の活性炭に比べて、アルデヒドの吸着性能が飛躍的に向上することを見出した。

この現象をヒントとして数々の試行錯誤を繰り返し、最終的には、尿素を主要成分としこれに人体に対して安全な食品添加物を補助的に加えて、活性炭などの多孔質担体に添着することによって、つぎのような数々の特長を具備する高性能な低級アルデヒド類吸着剤を開発・完成することができた。

- ①アミン臭などの異臭を発生しない。 ②保存中にアルデヒド吸着性能が自己劣化しにくい。
- ③体積基準でのアルデヒド吸着容量が大きい。 ④人体に対して安全で、環境にやさしい。
- ⑤使用済み吸着剤は、再生または再利用できる。

2. 意見交換会

特にテーマは設けず、グループごとにわかれて情報交換を行なった。

